

釜石映画製作支援のお願い

喜劇 釜石ラーメン物語

麺は細いが絆は太い。湯気の向こうに笑顔味く。

監督 今関あきよし
脚本 いしかみ彰

小生、根性、情、奮闘記!
釜石ラーメン



イラスト：ヤマサキタツホ

「喜劇 釜石ラーメン」製作委員会

協力：釜石市 / 製作協力：有限会社寿々福 / 監督：今関あきよし

*委員会加盟会社、共同製作会社も募集しております。

『喜劇釜石ラーメン物語』の始まり 監督：今関あきよし

僕が最初に釜石へ行ったのは2014年。まだ東日本大震災の津波の被害が街中に多く残っていた。そして、2021年の今までに毎年通い続けて、その復興の変化を見続けて来た。

多くの友人知人も増え、前向きな方、未だに身内が見つからず、どこかで生きていと強く訴える方、皆、未来を見る努力はするものの、過去への無念な想いに引きずられて、身動きできない方も…。

いろいろな角度から映画という手段でほんの少しでも元気に出来ないものかと試行錯誤し続けてきた7年間だった。そんな中、いつも釜石へ行くと食べているものがあつたことに気がつく。釜石ラーメンだ。

釜石の方は単に「ラーメン」として普通に食べている。311以降、津波被害の大きかった「釜石」という名が広がり、同時に「ラーメン」として普通に地元の人に親しまれていた「釜石」ラーメンが多少なりとも認知し始めた。コロナ禍の中、やっと僕は映画の方向がはっきり見えてきた。小さな町の中の小さな中華食堂「小川食堂」の家族のドタバタ家族ドラマを前向きに描こう。あえて「喜劇」としてワイワイガヤガヤ描こう。田舎町の「寅さん」のようなタッチで、都心では失われつつある人情劇を、昭和を回顧するのではなく、昭和のうざったい温かさを、この釜石の町で映画にしてみよう！と決めた。映画が釜石の町で公開され、全国で公開され、釜石を日本をちよいとだけでも元気にしたい！



野田市長と今関監督

今関あきよし 監督 プロフィール

1959年生まれ、東京都三鷹市出身。

学生時代、ぴあフィルムフェスティバルの前身であるOFF THEATER FILM FESTIVAL79に『ORANGING'79』で入選。映画監督大林宣彦に師事し、1983年に『アイコ十六歳』製作総指揮：大林宣彦 主演：富田靖子でプロとして監督デビュー。

2003年には原発事故を題材にした『カリナーナの林檎～チェルノブイリの森～』をベラルーシで撮影。

近年は東欧圏での映画作りが続き『クレヴァニ、愛のトンネル』

2017年モスクワで全編ロケの恋愛映画『ライカ/LAIKA』。

2020年公開の台湾ロケの作品『恋恋豆花』ロサンゼルス国際映画祭 JFFLAにて大林宣彦賞を受賞。

主な出演者



井桁弘恵

「仮面ライダーゼロワン」
刃唯阿 /
仮面ライダーバルキリー役
「グッドバイ」みほ役
監督 / 宮崎彩



利重 剛

「恋恋豆花」
監督/今関あきよし
「クロエ」監督作品
「さよならドビッシュ」
監督作品



大島葉子

「沈黙」お菊役 監督/
マーティン・スコセッシ
「朱花の月」主演
監督 / 河瀬直美
「恋恋豆花」AW主演
監督/今関あきよし

銀行振込口座

有限会社 寿々福 は「喜劇釜石ラーメン物語」の制作を担当する映画製作会社です。お振り込みいただいた支援金は「喜劇 釜石ラーメン物語」の製作支援金として全て製作費に使われます。

また、支援金には映画に対する権利（著作権、販売権、映像使用权など）は一切発生しないことをご了承下さい。

振込口座 / 三菱 UFJ 銀行 江戸川橋支店
普通 1010242 ユ) スズフク

【お問合せは】
<http://kamaishi-ramen.com/contact.html>
Email : info@kamaishi-ramen.com

【制作会社：有限会社寿々福】
<http://suzufukudo.com>
E-mail : info@suzufukudo.com